

# 安全データシート

作成：2015年6月30日

改定：2024年4月1日

---

整理番号      **POWERTORE    P I - 3 0 1**

---

## 1. 化学物質等および会社情報

### 1-1 製品

製品名      ①パワトレ    P I - 3 0 1  
使用分野    ②塗料ミスト処理  
製品内容    ③塗料ミスト処理剤

### 1-2 供給者情報

会社名      ①株式会社 P I  
住 所      ②愛知県豊田市陣中町 1-22-6  
担当部門    ③薬品事業部    P I ケミストリー  
販売者      ④株式会社 P I  
電話番号    ⑤0565-77-0106  
FAX 番号    ⑥0565-77-5075  
緊急連絡先 ⑦0575-77-0106

## 2. 危険有害性の要約

2-1 GHS 分類      分類対象外

2-2 取扱注意      ①炎症を引き起こす事がある。眼に対して中程度の炎症を引き起こすことがある。ミストやエアゾルは、呼吸器上部器官に炎症を引き起こす事がある。  
②臭い    なし  
③外観    透明または淡黄色液体  
④火災時は加圧式呼吸器（全面タイプ）を着用すること。  
⑤適切な消化剤は、ドライケミカル、二酸化炭素、泡、水。

### 2-3 健康への影響

◆皮膚への影響（急性）      ◎主被爆経路。皮膚に対して炎症を引き起こすことがある。  
◆眼への影響（急性）      ◎眼に対して中程度の炎症を引き起こす事がある。  
◆吸い込んだ場合（急性）    ◎ミストやエアロゾルが呼吸器上部器官に炎症を引き起こすことがある。  
◆飲み込んだ場合の影響      ◎胃腸器官に炎症を引き起こすことがある。  
◆影響を受ける器官      ◎慢性的な影響が現れる可能性はない。



## 5. 火災時の措置

- ◆消防作業時 ◎消火作業者は加圧呼吸保護具（全面タイプ）を着用すること。
- ◆消化剤 ◎ドライケミカル、二酸化炭素、泡消化剤あるいは水を使用する。
- ◆熱分解生成物 ◎燃焼火災条件で、各種元素の酸化物を発生する。
- ◆引火点 ◎なし

## 6. 漏出時の措置

- ◆防止処理と漏出の抑制 ◎換気を行う。
  - ◎指定された保護具を着用する。
  - ◎漏れを抑制し、吸着材に吸着させ、廃棄用の容器に回収する。
  - ◎水で洗い流す。（濡れた箇所は滑りやすいことあり）
  - ◎砂や砂利を撒く。
- ◆廃棄の手順 ◎「廃棄物の処理及び清掃に関する法」等に従って焼却処理を行うか、または許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- ◆取扱・貯蔵・保管 ◎通常の化学品と同様に取り扱う。
  - ◎製品を使用しない場合には容器を密栓する。
  - ◎他物質が混入しないように保管する。
  - ◎凍結させない。
  - ◎凍結した場合、融解して完全に混合してから使用する。

## 8. 暴露防止措置及び保護措置

- ◆本製品の成分の許容濃度は設定されていない。
- ◆設備対策 ◎十分な換気設備。
- ◆安全保護具呼吸保護具 ◎必要に応じて呼吸器保護具を着用する。
  - ◎空気清浄用呼吸器が必要な場合にはダスト・ミスト用フィルター付の呼吸器を使用する。
- ◆皮膚の保護具 ◎ネオプレンかあるいはそれと同等以上の長手袋にて取り扱う。
  - ◎使用済み長手袋は、作業後十分に洗い、必要に応じて交換する。
- ◆眼の保護具 ◎薬品飛散防止用ケミカルゴーグルを使用。

## 9. 物理的及び化学的性質

◆ 外観	◎ 透明または淡黄色液体
◆ 蒸気圧	◎ 18mmHg
◆ 蒸気密度	◎ < 1.00 (空気=1)
◆ 嵩比重	◎ 1.08 (25°C)
◆ 溶解度 (水中)	◎ 100%
◆ pH	◎ 4.0
◆ 臭い	◎ なし
◆ 凝固点	◎ -9°C
◆ 粘度	◎ 4,000cps (25°C)

## 10. 安定性及び反応性

◆ 安定性	◎ 通常の貯蔵条件では安定。
◆ 重合性	◎ 有害な重合を引き起こさない。
◆ 混合禁止	◎ 強酸化剤と反応する。
◆ 分解生成物	◎ 熱分解性生物：各種元素酸化物

## 11. 有害性情報

◆ 経口 LD50 (ラット)	◎ >2,000 mg/kg
◆ 経皮 LD50 (ラビット)	◎ >2,000 mg/kg

## 12. 環境影響情報

◆ 水棲生物に対する毒性	◎ データなし
◆ 生物分解性	◎ データなし

## 13. 廃棄上の注意

使用する当該地区ないしは廃棄しようとする地区の廃棄物処理法令に準じて廃棄すること。

◆ 埋め立て地に廃棄する場合	◎ 非危険性液体廃棄物として固めた後廃棄する。
◆ 燃焼処理を行う場合	◎ 燃焼排ガスの処理対策を講ずること。

